

2021年度

事業報告書

自 2021年4月 1日
至 2022年3月31日

公益財団法人 根津美術館

東京都港区南青山6丁目5番1号

目次

I 公益事業.....	3
【事業の趣旨】	3
【施設の概要】	3
【事業の概要】	3
1. 展示活動.....	3
(1) 特別展・企画展	3
(2) 日本庭園	5
(3) ミュージアムショップ	5
(4) 喫茶店.....	6
2. 美術品の収集、保管及び修理.....	6
(1) 美術品の購入.....	6
(2) 美術品の寄贈受入.....	6
(3) 美術品の寄託受入.....	6
(4) 美術品の保管	6
(5) 美術品の修理.....	7
3. 調査研究.....	7
(1) 調査・研究.....	7
(2) データベース	7
(3) 研究資料の整備	7
(4) 学術プロジェクトへの参加	8
(5) 美術品の閲覧.....	9
4. 教育普及.....	10
(1) 催事.....	10
(2) インターネットによる広報	10
(3) プレスリリース	10
(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット	10
(5) 内覧会・レセプション	10
(6) 施設案内パンフレット	11
(7) 他美術館との協力.....	11
(8) 地域との連携.....	11
(9) 有料広告	11
開催7展覧会で新聞広告を実施した。	11
(10) 根津倶楽部.....	12
(11) NEZUNET	12
(12) 青山茶会.....	12
(13) 美術品の館外貸出.....	12
(14) 画像の貸出.....	13

(15) 施設の貸与.....	13
II 収益事業	13
【事業の概要】	13
1. 不動産事業.....	13
III 庶務の概要	13
1. 役員.....	13
2. 職員.....	15
3. 役員会	15
(1) 理事会.....	15
(2) 評議員会.....	17
IV 事業報告の附属明細書	18

I 公益事業

【事業の趣旨】

1940年（昭和15年）11月、初代根津嘉一郎（1860～1940）の遺志により財団法人を設立、翌年10月に開館した根津美術館は、美術品の展示及び教育・普及活動を行うことにより、多くの人々が日本・東洋古美術を鑑賞し、芸術・文化に関する理解を深めることを目的とした諸事業を展開している。

本年度もその理念に基づき、当初特別展2回と所蔵美術品による企画展5回の開催を計画したが、新型コロナウイルスの感染拡大をうけた緊急事態宣言の発出に基づく都の要請や、状況を鑑みた自粛により、後記のように3展覧会が途中閉幕や開幕延期になるとともに、すべての展覧会に関連した講演会やスライドレクチャー、会員向けプログラム、施設を利用した催事などを中止した。

そうした中でも、所蔵美術品の調査研究は引き続き行い、その成果を展覧会に反映するとともに、紀要や図録等の刊行物により公表し、館外の学術研究及び教育普及活動への協力などを行った。また、継続的な収集活動によってコレクションの充実を図り、保管環境の整備や修理などにより、美術品の維持・管理に努めた。

【施設の概要】

2009年（平成21年）10月に新創開館した本館は地上2階（展示室1～6など）、地下1階（講堂など）。1990年に建設した展示施設を2007年に収蔵庫と事務室に改装した事務棟は地上2階、地下1階からなる。2009年度に地域新エネルギー等導入促進対策費補助金補助事業で導入した、本館2階屋根上の252枚のソーラーシステムパネルを引き続き運用し、資源エネルギーの活用にも努めている。

日本庭園には、薬師堂および茶室4棟があり、各所に石造物約150件が据えられている。庭園の豊かな樹木は港区の保護樹林に指定されている。

【事業の概要】

1. 展示活動

（1）特別展・企画展

美術館の開館時間は、午前10時から午後5時までとし、月曜日と展示替期間及び年末年始、および、新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言の発出に基づく東京都の要請や自粛による臨時休館期間（3展覧会計42日間）を除く毎日開館した。また、入館者数のコントロールと、事前決済による受付のスムーズ化を目的として2020年度の秋に導入したオンライン日時指定予約制を引き続き実施した。

入館料は、2020年度の特別展「根津美術館の国宝・重要文化財」より、特別展一般1,500円、学生1,200円、企画展一般1,300円、学生1,000円とした（いずれも中学生以下は無料）。また、オンライン日時指定予約の利用促進のため、同じく2020年度の企画展「狩野派と土佐派－幕府・宮廷の絵師たち－」より、予約をしていない来館者には、上記の入館料に一律100円を上乘せすることとした。障害者手帳提示者と同伴1名及び運転経歴証明書提示者へは1名につき200円の割引を行ったが、次回展の前売券（200円割引）の販売は2020年度に引き続き中止した。また、会員証の提示で、ICOM（国際博物館会議）は会員本人、日本博物館協会は会員本人と同伴者1名を無料とした。

2021年度は、開館日数計187日間に、来館者68,397名（うち有料来館58,977名）を迎えた。

展示室1・2では、下記の特別展及び企画展を開催し、同時に、展示室5では、特別展・企画展の内容とのバランスをはかり、それと異なるあるいは連動するジャンルやテーマに基づくテーマ展示を、また展示室6では季節に合わせた茶道具の展示を下記のとおり行った。

また、ホール～展示室3「仏教美術の魅力」のうち、展示室3は前年度に引き続き平安時代の木彫

仏（如来像1軀・菩薩像3軀）を展示した後、5月29日には中国・朝鮮の小金銅仏と仏具（小金銅仏4軀・銅製香炉1口）に、11月3日以降は日本の木彫仏（明王像2軀・天部像1軀）にそれぞれ展示替えを行った。

展示室4「古代中国の青銅器」では青銅器の通期展示を行うとともに、展示室の一角に設けた覗きケースでは、前年度から引き続いて「華やかな文様意匠」、5月29日から「細やかな地文と躍動する動物たち」、2022年1月9日から「葡萄文ーシルクロードの彼方、西方の文様ー」のテーマで中国の鏡を展示した。

特別展および企画展は所蔵美術品を中心に、適宜特別出品、参考出品などの作品により構成した。いずれの展覧会も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となって、作品の選定、運搬、会場構成、展示、特別展図録などの作成を行った。また、鑑賞しやすさを考慮した展示に努め、国内外からの来館者が理解しやすい日本語・英語表記の展示解説を付し、日本語の音声ガイドを備えた。また、外部業者に委託して、館内巡回の徹底と、来館者対応を補完し、快適な鑑賞環境の向上に努めた。

- ・開館80周年記念特別展「国宝 燕子花図屏風ー色彩の誘惑ー」 展示室1・2
2021年4月17日（土）～5月16日（日） 展示日数7/27日間
*4月25日～5月16日の20日間は、緊急事態宣言のため臨時休館
同時開催「上代の錦繡綾羅」 展示室5
「燕子花図屏風の茶会ー昭和12年5月の取り合わせー」 展示室6
入館者 4,514名（有料 4,049名）
- ・企画展「茶入と茶碗ー『大正名器鑑』の世界ー」 展示室1・2
2021年5月29日（土）～7月11日（日） 展示日数36/38日間
*5月29日・30日は、緊急事態宣言のため臨時休館
同時開催「茶人たちの手紙」 展示室5
「梅雨時の茶」 展示室6
入館者 11,370名（有料 9,621名）
- ・企画展「花を愛で、月を望むー日本の自然と美ー」 展示室1・2
2021年7月24日（土）～8月22日（日） 展示日数9/29日間
*8月1日～22日の20日間は、新型コロナウイルス感染拡大のため自主的に臨時休館
同時開催「つわものの姿」 展示室5
「夏手前ー涼みの茶ー」 展示室6
入館者 2,497名（有料 2,256名）
- ・企画展「はじめての古美術鑑賞ー人をえがくー」 展示室1・2
2021年9月11日（土）～10月17日（日） 展示日数33日間
同時開催「陶片から学ぶー朝鮮陶磁編ー」 展示室5
「残茶ー秋惜しむー」 展示室6
入館者 8,620名（有料 7,228名）
- ・重要文化財指定記念特別展「鈴木其一・夏秋溪流図屏風」 展示室1・2
2021年11月3日（水・祝）～12月19日（日） 展示日数41日間
同時開催「筆墨の魅力ー禅僧たちの書ー」 展示室5
「炉開きー祝儀の茶会ー」 展示室6
入館者 23,677名（有料 21,000名）
- ・企画展「文様のちからー技法に託すー」 展示室1・2
2022年1月8日（土）～2月13日（日） 展示日数32日間

同時開催「百椿図 ー初公開の「邸内遊楽図」とともにー」 展示室 5

「茶湯始 ー新年を祝うー」 展示室 6

入館者 9,653 名 (有料 8,188 名)

・企画展「かたちのチカラ ー素材で魅せるー」 展示室 1・2

2022 年 2 月 26 日 (土) ～3 月 31 日 (木) 展示日数 29 日間

同時開催「武人画家」 展示室 5

「仲春の茶事」 展示室 6

入館者 8,066 名 (有料 6,635 名)

なお、近年外国人入館者の割合が顕著な増加傾向を示していたが、2020 年度から新型コロナウイルスの影響で激減した。過去五年間の年間平均の推移は以下の通り。

2017 年度 23.7%

2018 年度 26.1%

2019 年度 27.3%

2020 年度 4.1%

2021 年度 3.8%

一方、在京外国公館からの入館者数には大きな変動はなかった。

(2) 日本庭園

17,000 平米におよぶ日本庭園は、中央に湧水の池を配する変化に富んだ地形に喬木や灌木が茂り、池の周囲に建つ 4 棟の茶室や点在する約 150 件の石造物が風情を添える。四季に応じた自然の変化を楽しむことのできる庭園の存在は、当館の特色のひとつでもある。本年度は、樹木の剪定・枯枝の除去、散策路の整備等を意欲的に行い、来館者の安全安心を最優先した環境の整備に心がけ、生態系の維持管理に努めた。

また 2013 年 10 月より、原則毎月木曜日に 1 棟ずつ、一般来館者向けの茶室見学会を開催していたが、本年度は新型コロナウイルス流行に伴い、見学会を実施しなかった。

東京都建設局公園緑地部の呼びかけに応じ、「東京の日本庭園おもてなし協議会」に加盟 8 年目。春と秋に発行される「東京いい庭キャンペーン」の冊子（日本語、英語）の掲載・配布協力は例年通り行った。定期会合（オンライン開催）を通じた意見交換などの活動に参加。昨年に続き、新型コロナウイルスの流行が落ち着いた紅葉の時期には、例年通り茶室周辺の茶庭の開放と Twitter フォトギャラリーを実施。美術館入館が予約制となった中でも、昨年同様の投稿があり、身近に自然の移り変わりを楽しむ場としてのニーズが逆に高まっているように感じられた。

(3) ミュージアムショップ

ホールに隣接するミュージアムショップでは、当館の施設や所蔵美術品、開催の展覧会に関連した商品を取り揃え、来館者の多様なニーズに合った、また知的欲求に適う商品の販売活動を行った。

学術研究の成果に基づく図録や研究紀要などの書籍に加え、展覧会の内容を考慮した専門書・一般書籍を販売するとともに、出展作品の絵葉書やグリーティングカード類、また所蔵美術品をもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナル商品を企画・制作・販売した。さらに、適宜、季節や展覧会のテーマに合った委託商品を加えることでバリエーション豊かな商品構成とし、また効果的なディスプレイを工夫することにより、当館ならではのショップづくりを促進した。

本年度、新たに製作したオリジナル商品は 3 品目 9 種類。虎年にちなみ「龍虎図屏風」の「虎」をモチーフに W ポケットフォルダーを制作。そして珠光緞子の生地を使用し、新たに名刺入れのア

アイテムが増えた。

(4) 喫茶店

庭園内に設置された NEZUCAFE は、来館者の憩いや談話の場である。定番の商品に、季節に応じた新商品を適宜加えることでメニューに変化をつけ、魅力あるメニュー作りを行ってきた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020 年度以来、メニューは軽食類を休止し、飲み物とケーキに限定していたが、感染の状況を勘案しつつ、一部の軽食メニューは 11 月 3 日からの特別展より再開した。また引き続き座席数を約半分に減らし、座席間のアクリル板を設置、さらに閉店時間を 30 分早めて、店内の掃除・消毒を徹底できるようにした。

2. 美術品の収集、保管及び修理

(1) 美術品の購入

本年度、美術品の購入はなかった。

(2) 美術品の寄贈受入

本年度、下記のとおり美術品の寄贈を受入れた。

東洋・西洋の陶磁、漆工、染織、金工、牙 169 件 西田宏子氏

(3) 美術品の寄託受入

本年度、美術品の寄託受入はなかった。

(4) 美術品の保管

所蔵美術品の保管を万全にするために、以下の作業を行った。

(展示施設)

- ① 展示施設内の虫害に対するモニタリング調査を、年間 2 回（5 月 20 日～6 月 18 日、9 月 17 日～10 月 20 日）実施して、施設環境の監視を行なった。
- ② 展示ケース内の除塵防黴作業を、年間 4 回（4 月 2 日～6 日、5 月 18 日～19 日、10 月 19 日～21 日、2 月 16 日～17 日）行った。
- ③ 修理完了作品および虫害の可能性がある作品の被覆燻蒸施工を、年間 1 回（5 月 19 日～22 日）行った。
- ④ 壁付展示ケース及び移動ケースのメンテナンス作業（8 月 25 日）を行った。
- ⑤ 展示ケース内の環境を確認するため、パッシブインジケータを用いた酸・アルカリの濃度計測（8 月 18 日～20 日）を行った。
- ⑥ 展示施設内の温湿度環境モニタリングのため、10 月 27 日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計 24 台のバッテリー交換を行った。

(収蔵施設)

- ① 収蔵庫のカビや虫害に対するモニタリング調査を、年間 2 回（5 月 20 日～6 月 18 日、9 月 17 日～10 月 20 日）実施し、収蔵環境の監視を継続した。
- ② モニタリング調査の結果をもとに、大規模清掃を 1 回（11 月 17 日）、除塵防黴作業を 1 回（3 月 23 日～26 日）実施した。
- ③ 収蔵庫内の温湿度環境モニタリングのため、10 月 27 日にデータロガー（温湿度測定・記録計）計 15 台のバッテリー交換を行った。

(5) 美術品の修理

以下の所蔵美術品の修理を実施した。

- | | | | | |
|---|--------|---------------------|------|--------|
| ① | 国庫補助修理 | | | |
| | 重要文化財 | 絹本墨画羅漢図〈／(第五諾矩尊者)〉 | 1幅 | 半田九清堂 |
| ② | 自費修理 | | | |
| | 重要美術品 | 紺紙銀字華嚴経卷第五十二(二月堂焼経) | 1巻 | 半田九清堂 |
| | | 紗綾地芒扇面散し模様縫箔 | 1領 | 共立女子大学 |
| | | 刀剣手入 | 170振 | 本阿弥雅夫 |

3. 調査研究

(1) 調査・研究

引き続き、所蔵美術品に関わる調査・研究を行い、新たな知見を、後記の通り展覧会や館外での学会などで発表するとともに、研究成果にもとづく研究紀要および所蔵品図録を出版した。所蔵品図録では、2020年度より「新蔵品選」全12冊(予定)の刊行を開始、今年度は第2冊として待望の「茶の美術」編を発行した。

- | | | | | |
|---|-------|-------------------------------|--------------|--------|
| ① | 紀要 | | | |
| | | 『根津美術館紀要 此君 第13号 特集 根津美術館の螺鈿』 | | |
| | | | 2022年3月30日発行 | 800部 |
| ② | 所蔵品図録 | | | |
| | | 『根津美術館 新蔵品選 茶の美術』 | 2022年3月31日発行 | 4,000部 |
| ③ | 特別展図録 | | | |
| | | 『重要文化財指定記念特別展 鈴木其一・夏秋溪流図屏風』 | | |
| | | | 2021年11月3日発行 | 2,500部 |

(2) データベース

2009年度に基本システムが完成した当館の収蔵品データベースについて、データの入力・更新、デジタル画像の登録、ならびにシステムの改善を行った。アルバイトを通年で1名雇用し、下記の作業を行った。

- ① 引き続き、展示履歴および作品解説の入力作業を行った。また、前年に引き続き、画像の閲覧性を高めるべく、画像の配列を改良した。
- ② 新規撮影したデジタル画像の登録を、引き続き行った。

(3) 研究資料の整備

美術品の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入・収集・整理を行った。

- ① 昨年度に引き続き、図書の受入や収蔵図書データベースの整備や修正を行うことで、図書管理体制の充実化を図った。アルバイト2名を雇用し、購入・受贈図書の新規受け入れの他、雑誌や抜刷の曝書(蔵書点検)とデータの見直し、及び修正を終了した。また、発掘報告書に新たな分類記号を付与し、保存管理の効率化を図った。
- ② 美術館・博物館など239機関の学術刊行物、および当館作品掲載図書など764冊を受贈した。
- ③ 展覧会の開催や当館所蔵品の研究のため、222冊の図書・雑誌を購入した。

(4) 学術プロジェクトへの参加

- ・ 展覧会図録、学術研究誌および単行本上に、下記の通り、当館学芸員が研究成果を発表した。
 - 西田宏子 「初代根津嘉一郎の蒐集品を戦火から守った二代根津嘉一郎」 (『根津美術館紀要 此君』13号)
 - 野口 剛 「鈴木其一・夏秋溪流図屏風 ―造形が内包する三つのレイヤー―」(展覧会図録『重要文化財指定記念特別展 鈴木其一・夏秋溪流図屏風』、根津美術館)
「石田幽汀筆 百花図」(『国華』1516号)
 - 本田 諭 「栃木県 1 男神坐像 日光市・日光山輪王寺」「栃木県 2-1~2 男神坐像・女神坐像 日光市・日光山輪王寺」「栃木県 4 男神坐像 日光市・日光山輪王寺」
「栃木県 5 男神坐像 日光市・日光山輪王寺」「栃木県 6-1~3 女神坐像 日光市・日光山輪王寺」「栃木県 7 男神立像 日光市・二荒山神社」「栃木県 8 僧形神坐像 日光市・二荒山神社」「栃木県 9 三面男神坐像 日光市・磐裂神社」「栃木県 11 三面男神坐像 鹿沼市・天満星宮神社」(伊東史朗総監修『神像彫刻重要資料集成 第1巻 東日本編』、国書刊行会)
 - 永田智世 「春日大盆と手力盆 春日大社由来の螺鈿のある祭器」(『根津美術館紀要 此君』13号)

- ・ 館外の研究・教育機関の依頼により、下記の通り、当館学芸員が講演を行った。
 - 永田智世 公益財団法人 遠山記念館 演題「秋野蒔絵手箱 ―蒔絵を楽しむ―」

- ・ 文部科学省・文化庁および各教育委員会などの要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の指定、購入、修理、技術保存に関わる会議に委員として参画した。
 - 西田宏子 佐賀県文化財保護審議会
 - 本田 諭 足利市文化財専門委員会
宇都宮市文化財保護審議会
文化庁 文化財買取評価会
 - 永田智世 文化庁 文化財研修事業(伝統工芸・文化財保存技術)企画選定委員会
文化庁 伝統工芸超分野交流事業における企画選定審査委員会
文化庁 文化財買取評価会
 - 下村奈穂子 公益財団法人日本博物館協会 美術品梱包輸送技能取得士試験(審査員)

- ・ 独立行政法人および公私立の博物館・美術館の要請により、下記の通り、当館学芸員が、美術品の購入・修理、館の運営などに関わる会議に委員および委嘱者として参画した。
 - 松原 茂 三の丸尚蔵館管理運営懇談会
宮内庁 皇室用美術工芸品修理指導
東京国立博物館 有形文化財買取協議会(常任委員)
九州国立博物館 購入候補文化財価格評価会
 - 永田智世 東京国立博物館 寄贈文化財価格評価会

- ・ 文化庁、独立行政法人、公私立の博物館・美術館および研究者の要請により、下記の通り、当館学芸員が、学術研究に参画した。
 - 西田宏子 Dresden Project(ドイツ・ドレスデン市にあるアウグスト王蒐集日本磁器の目録作成)

本田 諭 栃木県立博物館 調査研究協力員
永田智世 文化庁文化財第一課 非常勤調査員

・公益財団法人より、下記の通り、当館学芸員が調査研究のための助成金を支給された。

永田智世 鹿島美術財団 美術に関する調査研究の助成
テーマ「初代・飯塚桃葉と十八世紀の江戸文化 根津美術館蔵「百草蒔絵薬筆筒」を中心に」

(5) 美術品の閲覧

所蔵美術品の閲覧申請を受け、研究の目的や学術的成果が期待でき、かつ作品が安全な状態であることを確認のうえ、以下 33 件の研究に協力した。

[2021 年]

4 月 22 日	大手前大学 (2 名)	「信楽写信楽茶碗 銘 武蔵野」	他 4 件
4 月 23 日	大手前大学 (1 名)	「仁清銘陶片」	
5 月 5 日	東京文化財研究所 (2 名)	「酒呑童子絵巻」	住吉弘尚筆
5 月 14 日	神奈川県立歴史博物館 (2 名)	「地藏十王図」	
6 月 1 日	中之島香雪美術館 (1 名)	「信楽写信楽茶碗 銘 武蔵野」	他 1 件
6 月 2 日	大和文華館 (1 名)	「祥瑞 青花花鳥文瓢形徳利」	他 2 件
6 月 16 日	泉屋博古館 (3 名)	「古銅龍文象耳花生」	他 2 件
7 月 2 日	京都芸術大学 (2 名)	「楼閣人物螺鈿箱」	
7 月 7 日	大阪歴史博物館 (1 名)	「百草蒔絵薬筆筒」	内容品
7 月 22 日	東京大学 (1 名)	「人物螺鈿八角合子」	他 1 件
7 月 30 日	大東急記念文庫 (2 名)	「論語義疏」	他 4 件
7 月 30 日	元興寺文化財研究所 (1 名)	「神人画像鏡」	尚方作 他 1 件
10 月 7 日	岡山県立博物館 (1 名)	重要文化財「鼠志野茶碗 銘 山の端」	他 1 件
11 月 13 日	芦屋釜の里 (3 名)	「雲龍八花鏡」	他 3 件
11 月 18 日	金沢美術工芸大学 (3 名)	国宝「鶉図」	伝李安忠筆
11 月 19 日	大和文華館 (1 名)	「観雪官女図」	住吉広守筆 他 2 件
11 月 20 日	文化庁 (5 名)	重要美術品「銅造観音菩薩立像」	他 1 件
11 月 26 日	東京国立博物館 (5 名)	能面	12 件
12 月 3 日	岩手大学 (1 名)	「白樺書屋古壺」	
12 月 7 日	奈良大学 (1 名)	重要文化財「大般若経 卷第二百六十七 (神亀五年長屋王願経)」	
12 月 16 日	五島美術館 (1 名)	「白河切 (後撰和歌集断簡)」	他 3 件

[2022 年]

1 月 10 日	ふくやま美術館 (1 名)	重要文化財「鉢」	他 3 件
1 月 21 日	島根大学 (1 名)	「仿製内行花文鏡」	
1 月 27 日	國華社 (2 名)	「源氏物語画帖」	伝土佐光則筆 他 2 件
2 月 16 日	泉涌寺宝物館 (2 名)	「浮屠」	
3 月 4 日	同志社大学 (1 名)	重要美術品「唐物文林茶入 銘 白玉」	他 2 件
3 月 4 日	日本芸術文化振興会 (4 名)	能面	17 件
3 月 9 日	三重県総合博物館 (1 名)	「伊勢参宮図屏風」	
3 月 9 日	明治大学 (2 名)	「白樺書屋古壺」	

3月10日	大手前大学（2名）	「色絵菊花形向付」 他2件		
3月11日	北國新聞社（5名）	「杜子美騎驢図」等春筆 他3件		
3月26日	大阪電気通信大学（3名）	茶室 4件		
3月31日	サントリー美術館（1名）	「鏡山図」 他4件		
		計33件	閲覧者65名	作品総数104件

4. 教育普及

(1) 催事

例年は、展覧会に関連して館内外の講師による講演会、および担当学芸員によるスライドレクチャーを行っていたが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、すべて中止した。

同様に、特別企画催事は無料、有料ともに行わなかった。

(2) インターネットによる広報

展覧会や各種の催事、施設などの情報発信窓口である当館ウェブサイト (<https://www.nezu-muse.or.jp>) は目下、日本語版と英語版をそれぞれPC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。年間の閲覧回数は949,425アクセス(昨年度765,143アクセス)、ユーザー数は639,968名(昨年度510,540名)。新型コロナウイルスの感染拡大が続いたが、アクセス数は昨年度より増加した。また、ユーザーのうち約9%が日本語以外の言語環境(昨年度10%、一昨年度15%)、また約4.5%が日本以外の地域(昨年度4.5%、一昨年度8%)からアクセスしている。

ウェブサイトに加え情報発信ツールとして利用しているFacebookのフォロワー数は期初の約40,000名から約41,000名に増加した。Twitterでのフォロワー数も期初の約35,000名から約42,000名となった。中止になった展覧会の期間中は、展示予定の作品に関する投稿や、庭園の季節の見どころなどの情報の投稿を積極的に行った。

(3) プレスリリース

美術館や展覧会の情報を、各種メディアに告知するプレスリリースを発信し、各展覧会の開催時期に合わせた各種パブリシティへの掲載、雑誌での特集記事やテレビ番組への協力を促進した。特に、展覧会ごとのポスター・チラシのデザインをプレスリリースにも使用し、展覧会のコンセプトを一貫したイメージで訴求できるように、それに伴う制作スケジュールの管理・運用を行っている。インバウンドの減少に伴うニーズ減はまだ解消していないが、国内のみならず、海外の各種メディアからの問い合わせに対して情報を提供し、ニーズに合った対応に引き続き努めた。また、タイムリーな情報提供と環境負荷の低減の観点から、希望者に対しては広報資料のメール配信を郵送に代えて開始した。

(4) ポスター・チラシ・年間スケジュールパンフレット

引き続き、館外3か所に開催中の展覧会ポスターを掲示。館内には次回展のポスターとチラシや、年間スケジュール、根津倶楽部パンフレットを常備し、美術館および展覧会の認知度アップに努めた。英語版の館内配布用展示目録パンフレットならびに英語版チラシの作成・配布を引き続き行った。今年度も、各展覧会の開催時期に合わせ、近隣の商店や公共施設、文化教育施設、美術館、博物館、古美術商などに展覧会のポスターやチラシを配布し、各展覧会の内容に即した特定団体への情報提供を行うなど、きめ細かな誘客活動に努めた。

(5) 内覧会・レセプション

展覧会の開催日前日(年度内7回)に、各種メディア向けの記者内覧会を実施して、展覧会の担当

学芸員による展示解説を行い、メディアによる宣伝活動の促進を目指した。2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、特別展での特別内覧会及びレセプションは開催しなかった。

- ・開館 80 周年記念特別展「国宝 燕子花図屏風 ー色彩の誘惑ー」：4 月 16 日（金）
記者内覧会 出席者 52 名
- ・企画展「茶入と茶碗 ー『大正名器鑑』の世界ー」：5 月 28 日（金）
記者内覧会 出席者 43 名
- ・企画展「花を愛で、月を望む ー日本の自然と美ー」：7 月 21 日（水）
記者内覧会 出席者 34 名
- ・企画展「はじめての古美術鑑賞 ー人をえがくー」：9 月 10 日（金）
記者内覧会 出席者 32 名
- ・重要文化財指定記念特別展「鈴木其一・夏秋溪流図屏風」：11 月 2 日（火）
記者内覧会 出席者 56 名
- ・企画展「文様のちから ー技法に託すー」：1 月 7 日（金）
記者内覧会 出席者 42 名
- ・企画展「かたちのチカラ ー素材で魅せるー」：2 月 25 日（金）
記者内覧会 出席者 41 名

（6）施設案内パンフレット

日本語・英語・仏語・中国語・韓国語のパンフレットを館内に常備している。また外部の観光案内施設などから要望がある場合も送付サービスを行っている。

（7）他美術館との協力

- ・例年実施してきた三井記念美術館、五島美術館との共同企画として「秋の三館 美をめぐる」キャンペーンは各館と協議の結果中止とした。
- ・引き続き、美術館関連団体に加入することで、他の美術館との情報交換を推進し、美術館業界の活性化に努めた。

（8）地域との連携

- ・港区内の美術館として、本年度も、同区が年 2 回発行する広報誌『港区ミュージアムネットワーク』に展覧会情報を掲載した。
- ・展覧会のポスターやチラシを館員が持参して近隣商店や団体に届けることにより、緊密な関係構築に努めた。
- ・近隣の港区立青南小学校 3 年生の「総合」学習授業での来館や、港区内の小学校に併設されている学童保育施設「放課 Go!クラブ」の児童の展示見学受け入れは、新型コロナウイルス感染症拡大のため行われなかったが、再開を目指して引き続き情報提供などを継続した。

（9）有料広告

開催 7 展覧会で新聞広告を実施した。

- ・開館 80 周年記念特別展「国宝 燕子花図屏風 ー色彩の誘惑ー」：朝日朝刊・日経夕刊・読売夕刊
- ・企画展「茶入と茶碗 ー『大正名器鑑』の世界ー」：日経夕刊
- ・企画展「花を愛で、月を望む ー日本の自然と美ー」：日経夕刊
- ・企画展「はじめての古美術鑑賞 ー人をえがくー」：日経夕刊
- ・重要文化財指定記念特別展「鈴木其一・夏秋溪流図屏風」：朝日朝刊・日経夕刊・読売夕刊

- ・企画展「文様のちから 一技法に託す」：日経夕刊
- ・企画展「かたちのチカラ 一素材で魅せる」：日経夕刊

また、2022年の展覧会を紹介するために、12月発行の『日経おとなのOFF 2022年絶対に見逃がせない美術展』に年間展覧会スケジュールを掲載した（カラー、1頁）。

本年度も引き続き、地下鉄・表参道駅のポスター（チラシ配布用ポケット付）掲示を、7展覧会において、一部途中休館となった展覧会を除き、それぞれ2週間ずつ実施した。これを通じ、同駅利用者に毎回300枚～400枚程度のチラシを配布することができた。

（10）根津倶楽部

「根津倶楽部」は、固定客層の獲得を目的として、2009年（平成21年）に開始した会員組織である。2012年（平成24年）の第1回の制度改定に続き、美術館新創開館10周年を迎えた2019年（平成31年）に第2回制度改定を行なった。本年度は2021年4月25日～5月16日、5月29日～30日、ならびに8月1日～8月22日が新型コロナウイルス感染症予防対策に伴う臨時休館となったため、展示再開の9月11日より入会済会員の有効期限を4ヶ月延長する特別措置を実施した。結果、2021年度末の会員数は728名となった。

（11）NEZUNET

根津美術館の会員制メールマガジン「NEZUNET」（会費無料）は、新創開館以来会員数が増え続け、2021年度は新たに551件のメールアドレス登録があり、2021年度末現在の会員数（メールアドレス登録件数）は9,028名となった。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大にともなう臨時休館等のお知らせを含め、11回メールマガジンを配信した。

（12）青山茶会

「青山茶会」は、茶道にある程度習熟した人々を対象に、茶道美術への理解と普及、および当館のファンやリピーターを増すことを目的として、1会期5万5千円の会費で、年4回の茶会と4回の講座への参加及び入館料無料の特典を提供する会員制度である。

本年度は昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症流行を受け、年度を通して一切の催事が行えないと判断し、会員の募集並びに一切の活動を行わなかった。

（13）美術品の館外貸出

以下の展覧会および茶会に、所蔵美術品の館外貸出を行った。

- ・特別展「揚州八怪」 大阪市立美術館
会期：6月12日（土）～8月15日（日）
10458 李方膺筆 墨梅図 1幅 計1件1点
- ・特別展「土佐派と住吉派—やまと絵の荘厳と軽妙—」 和泉市久保惣記念美術館
会期：9月12日（日）～11月7日（日）
10380 住吉広尚筆 酒吞童子絵巻 8巻 計1件8点
- ・特別展「天之美祿 酒の美術」 大和文華館
会期：10月9日（土）～11月14日（日）
50124 楼閣人物螺鈿箱 1合
10055 書写山如意輪観音像 1幅 計2件2点

- ・特別展「最澄と天台宗のすべて」 東京国立博物館
会期：10月12日（火）～11月21日（日）
10012 重要文化財 金剛界八十一尊曼荼羅 1幅 計1件1点

- ・特別展「最澄と天台宗のすべて」 九州国立博物館
会期：2月8日（火）～3月21日（月・祝）
10012 重要文化財 金剛界八十一尊曼荼羅 1幅
10055 書写山如意輪観音像 1幅 計2件2点

合計 5ヶ所 7件 14点

（14）画像の貸出

本年度は、146件の申請を受け、456件の画像を館外の刊行物や研究者に提供した。その内、貸出し件数の多いものは以下の通りである。

燕子花図屏風45件、那智瀧図7件、夏秋溪流図屏風5件、誰が袖図屏風4件、伊勢参宮図屏風4件、漁村夕照図4件。

（15）施設の貸与

本年度は、新型コロナウイルス感染症流行を受け、館外向けの講堂・茶室等の施設貸与は一切行わなかった。

II 収益事業

【事業の概要】

1. 不動産事業

日本殖産興業株式会社と持分割合二分の一で建築した「青山サンライトビル」を建物の当館持分を貸店舗として日本殖産興業株式会社に賃貸し、管理は日本殖産に業務委託。本年度は毎月のサンライトビル日本殖産持分の地代、駐車場の賃料、NTTドコモの移動通信設備設置料等の収入の他に、日本殖産との土地賃貸借契約が満期を迎えるに当たり、更新料を受領した。

III 庶務の概要

1. 役員

2022年3月31日現在

役職名	勤務	氏名	就任年月日 (初就任年月日)	職歴		
				現職名	最終公務員暦・同一業界	
					関係歴	退職年月日
理事長	非常勤	根津 公一	2020年6月26日 (2012年4月1日)	株式会社東武百貨店 名誉会長	学校教育	なし
常務	非常勤	矢野 恵一	2020年6月26日	公益財団法人根津美術館	なし	〃

理事			(2012年4月1日)	常務理事		
理事	非常勤	島尾 新	2020年6月26日 (2012年4月1日)	学習院大学 教授	学校教育	なし
〃	非常勤	渡邊 喜雄	2020年6月26日 (2014年5月30日)	株式会社カインドウェア 代表取締役会長	なし	〃
〃	非常勤	板倉 聖哲	2020年6月26日 (2014年5月30日)	東京大学東洋文化研究所 教授	学校教育	〃
〃	非常勤	岡橋 輝和	2020年6月26日 (2020年6月26日)	山九株式会社 社外取締役	なし	〃
〃	常勤	松原 茂	2020年6月26日 (2014年5月30日)	公益財団法人根津美術館 副館長学芸 部長	なし	〃
〃	常勤	柳瀬 茂	2020年6月26日 (2018年5月28日)	公益財団法人根津美術館 管理部長	なし	〃
		8名				
監事	非常勤	後藤 康雄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	はごろもフーズ株式会社 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	中瀬 雅通	2020年6月26日 (2013年5月29日)	株式会社三陽商会 相談役	〃	〃
		2名				
評議員	非常勤	小林 喬	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 特別顧問	保険業	なし
〃	非常勤	正田 修	2020年6月26日 (2012年4月1日)	㈱日清製粉グループ本社 名誉会長相談役	なし	〃
〃	非常勤	根津 嘉澄	2020年6月26日 (2012年4月1日)	東武鉄道株式会社 取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	秋山 智史	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富国生命保険相互会社 相談役	保険業	〃
〃	非常勤	堀内 光一郎	2020年6月26日 (2012年4月1日)	富士急行株式会社 代表取締役社長	鉄道業	〃
〃	非常勤	安田 正	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	〃	〃
〃	非常勤	田村 妙子	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人山種美術財団 理事長	美術館	なし
〃	非常勤	徳川 義崇	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人徳川黎明会 会長	美術館	〃
〃	非常勤	根津 后方子	2020年6月26日 (2012年4月1日)	公益財団法人根津美術館 評議員	なし	〃
〃	非常勤	近藤 誠一	2020年6月26日 (2014年3月19日)	近藤文化・外交研究所 代表	文化庁長官	2013年7月

〃	非常勤	河田 正也	2020年6月26日 (2017年5月24日)	日清紡ホールディングス(株) 代表取締役会長	なし	なし
〃	非常勤	池田 康夫	2021年3月27日 (2021年3月27日)	学校法人根津育英会武蔵学園 学園長 兼 副理事長	学校教育	なし
		12名				

2. 職員

2022年3月31日現在

職名	勤務	氏名	就職年月日	担当事務
館長	非常勤	根津 公一	2000年1月4日	総括
副館長学芸部長	常勤	松原 茂	2008年10月1日	日本書画史・学芸部総括
学芸部次長 兼学芸第一課長	常勤	野口 剛	2008年10月1日	近世絵画史・情報管理
学芸第二課長	常勤	本田 諭	2018年4月1日	中世絵画史・環境整備
学芸第一課	常勤	下村 奈穂子	2014年9月1日	陶磁史・茶道・学芸庶務
学芸第一課	常勤	玉井 あや	2020年4月1日	染織史・茶道・学芸庶務
学芸第二課	常勤	福島 洋子	2009年4月1日	墨跡・図書管理・学芸庶務
学芸第二課	常勤	永田 智世	2018年4月1日	漆工史・茶道・学芸庶務
学芸部次長 [広報担当]	常勤	所 純子	2012年12月1日	広報全般
学芸部広報課長	常勤	村岡 香代子	2013年1月1日	広報
学芸部広報課	常勤	荒川 麻美子	2009年4月1日	ショップ・画像管理
管理部部長	常勤	柳 瀬 茂	2018年1月1日	管理部総括
管理部次長	常勤	鈴木 康生	2001年4月11日	設備管理・顧客サービス
管理部次長	常勤	藤江 暁	2019年10月1日	設備管理・顧客サービス
管理部	常勤	田中 智子	1990年9月1日	総務
管理部	常勤	松井 麻美	2009年4月1日	顧客
管理部	常勤	須田 瑛生	2014年3月1日	総務・会計・茶道
管理部	常勤	高室 修	1975年3月1日	施設管理
		職員 18名	他に臨時職員 27名	

顧問	非常勤	矢野 恵一	2012年12月1日	全般
顧問	常勤	西田 宏子	2014年6月1日	学芸部
顧問	非常勤	宇田川 真紀雄	2016年4月1日	全般
		顧問 3名		

3. 役員会

(1) 理事会

決議があったものとみなされた日 2021年6月10日(木)

決議があったものとみなされた事項

第1号議案 2020年度事業報告の件

第2号議案 2020年度正味財産増減決算の件

2021年5月12日、根津公一理事長が理事全員及び監事の全員に対して、書面により理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2021年6月10日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般法人法第96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案（第1号、2号議案）を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。また理事長及び常務理事の業務執行報告については、報告の内容を書面にてすべての理事および監事に提供することで代替した。

決議があったものとみなされた日 2021年9月17日（金）

決議があったものとみなされた事項

第1号議案 西田宏子氏寄附受け入れの件

2021年9月1日、根津公一理事長が理事全員及び監事の全員に対して、書面により理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2021年9月17日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般法人法第96条（定款第33条第2項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案（第1号、2号議案）を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。また2022年度展覧会スケジュール並びに理事長及び常務理事の業務執行報告については、報告の内容を書面にてすべての理事および監事に提供することで代替した。

開催日 2022年1月9日（水）

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 日本殖産興業㈱との土地賃貸借契約更新の件

根津理事長より日本殖産興業㈱との土地賃貸借契約が満期を迎えるに当たり、その更新並びに更新料の受領について、理事会として決議を行いたい旨の発言があった。ここで、当財団理事長と日本殖産興業㈱代表取締役は同一人物であり、特別利害関係人に当たるため、当議決からは退き、矢野常務理事が議事の進行にあたることとなった。中瀬監事より土地賃貸借契約更新料は消費税の課税対象となるか質問があり、事務局より同更新料は消費税の課税対象でない旨を回答した。根津公一理事長を除く理事6名で、質疑応答を経て審議の結果、原案を理事6名全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

③ 美術館近況の件

事務局より、まず2019年度以降今年度末に至るまでの開館状況等について報告があった。ついで当財団顧問の西田宏子氏からの寄贈品について、昨年の受け入れについて議決した内容について、あらためて口頭で報告を行った。最後に、直近行われた特別展「鈴木其一・夏秋溪流図展」について、企画の位置づけや入館状況・専門家からの評価について報告があった。

開催日 2022年3月10日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 2022年度事業計画書の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第2号議案 2022年度正味財産増減予算書の件

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

第3号議案 規則改定の件

① 就業規則

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

② 会計処理規則

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

③ 茶室利用規則

理事長より、同案についての内容説明があった。質疑応答を経て審議の結果、原案を出席理事全員一致で承認可決した。

報告事項

① 理事長の業務の執行状況の件

根津理事長より、業務の執行状況について報告があった。

② 常務理事の業務の執行状況の件

矢野常務理事より、業務の執行状況について報告があった。

(2) 評議員会

決議があったものとみなされた日 2021年6月11日(土)

決議があったものとみなされた事項

第1号議案 2020年度事業報告の件

第2号議案 2020年度正味財産増減決算の件

2021年5月28日、根津公一理事長が評議員全員及び監事の全員に対して、書面により評議員の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2021年6月11日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項に基づき評議員の決議の省略の方法により、当該提案(第1号、2号、3号、4号、5号)を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

開催日 2022年3月16日(水)

場所 根津美術館 地下1階講堂

議事事項

第1号議案 2022年度事業計画の件

理事長より、同案についての内容説明があった。

質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

第2号議案 2022年度正味財産増減予算の件

事務局より、同案についての内容説明があった。

質疑応答を経て審議の結果、原案を出席評議員全員一致で承認可決した。

報告事項

① 西田宏子氏寄附受け入れについて

当館学芸部長より、当館顧問の西田宏子氏より美術品 169 件の寄附申請があり、理事会にて受け入れを決議したことの報告ならびにコレクションの概要について説明があった。

② 最近の状況について

事務局より、直近の美術館を取り巻く状況について、館の運営に対する新型コロナウイルスの影響や主な修繕・環境整備の観点から報告があった。

IV 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。